

# エポロライトシーラー

壁の  
新築・改修用

## 弱溶剤系エポキシ樹脂下塗材(2液形)

エポロライトシーラーは、エポキシ樹脂の特徴である強力な密着性と耐薬品性を利用したものです。素地に深く浸透し、素地を強化するとともに仕上材との密着性を向上させます。また弱溶剤系であるため旧塗膜を侵さず塗替え用にも適しています。

### 標準塗装仕様(素地:モルタル下地の場合)

工程	使用材料	調合比 (重量比)	希釈率 (%)	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗装回数	工程時間 (23℃)	塗装方法
下地処理	下地に付着している埃、レイトランス、油分その他を除去する。 不陸、段差、巣穴などは前もって補修する。 塗装前は乾燥した清浄な下地とする。						
下塗り	エポロライトシーラー	A液:B液 1:1	無希釈	0.10~0.20 (※1)	1	5~72時間	刷毛・ローラー スプレーなど
上塗り (※2)	弱溶剤系上塗材：ライトシリカ、ネオシリカ21Cライト1000Rなど 溶剤系上塗材：ハイアートシリーズ、ネオシリカシリーズ(ネオシリカ5000は除く)など						

※1 塗布量は下地の吸込み度合や状況によって多少の増減があります。

※2 上塗りに関しては、各材料のカタログ・SDS等をご参照ください。

### 塗装上の注意事項

1. 調合比は塗膜性能を充分に発揮するために重要です。A液とB液の調合比は厳守してください。
2. 調合した材料は、可使用時間(23℃時6時間)以内に使い切ってください。特に夏季は硬化が早くなるので注意してください。
3. 油分が残ったまま施工をすると、密着不良になる場合になる場合があるため注意してください。
4. 標準塗布量の範囲で、ダレ、塗り残しのないように均一に塗装してください。
5. 標準塗布量以上の厚塗りは避けてください。乾燥不良やひび割れの原因となります。
6. 気温5℃以下、湿度85%以上、表面に結露が見られる場合には施工を避けてください。

### 一般性状

項目	結果		試験方法
	A液	B液	
粘度	25秒	10秒	フォードカップ
比重	0.93	0.88	比重カップ法(23℃)
加熱残分	48%	12%	JIS K 5601
貯蔵安定性	異常なし		6ヶ月貯蔵(30℃)
可使用時間	6時間		23℃
硬化時間	24時間		23℃

### 荷姿

材料名	容量		標準塗り面積
エポロ ライトシーラー	15kgセット		
	A液	7.5kg	
	B液	7.5kg	

